

終末期医療のあり方に関する懇談会 開催要綱

医政局総務課
平成20年10月

1. 目的

患者の意志を尊重した望ましい終末期医療のあり方について検討を行うため、終末期医療のあり方に関する懇談会を開催する。

2. 検討事項

- (1) 終末期医療の現状の問題点と課題を整理し、望ましい終末期医療のあり方を検討
- (2) 国民、医療従事者及び介護・福祉施設職員の終末期医療に関する意識調査とその検討
- (3) 関係者からのヒアリングを実施

3. 構成員

厚生労働大臣及び有識者により構成される（有識者については、別紙の通り）。

4. 運営

本会議の庶務は、厚生労働省医政局で行う。

議事は公開とする。

(別 紙)

「終末期医療のあり方に関する懇談会」委員名簿

(五十音順)

池 上 直 己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授
伊 藤 たてお	日本難病・疾病団体協議会代表
大 熊 由紀子	国際医療福祉大学大学院教授
川 島 孝一郎	仙台往診クリニック院長
木 村 厚	社団法人全日本病院協会常任理事
近 藤 博 子	財団法人がんの子供を守る会理事
櫻 井 紀 子	社団法人全国老人福祉施設協議会
田 村 里 子	医療法人東札幌病院MSW課長
池 主 憲 夫	社団法人日本歯科医師会常務理事
中 川 翼	医療法人溪仁会定山溪病院院長
中 山 康 子	NPO法人在宅緩和ケア支援センター虹代表理事
永 池 京 子	社団法人日本看護協会常任理事
林 章 敏	聖路加国際病院緩和ケア科医長
樋 口 範 雄	東京大学大学院法学政治学研究科教授
宝 住 与 一	社団法人日本医師会副会長
増 成 隆 士	筑波大学名誉教授
町 野 朔	上智大学大学院法学研究科教授
南 砂	読売新聞東京本社編集委員
山 本 保 博	日本救急医学会代表理事
ワット 隆 子	あけぼの会会長